

特別支援学級 生活単元学習指導案

1 単元名 なかよしアート展 ～みんなでクリスマス～

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1、2	・なかよしアート展に向けての見通しをもつ。 ・高学年は全校に作品協力の依頼動画を作成したり、全校の仲間に放送で呼びかけたりする。
2	3～10	・カメラ機能や3Dペイントを使ってクリスマスツリーの材料となる素材を作成し、ツリーの作成をしたり、マビーやスフィロなど、会場に飾る展示物のプログラミングを行ったりする。
3	11～13	・参観者に向けて、作品紹介や会場案内をするために、原稿作成や発表の練習を行う。 ・保護者や児童、地域の方などの来場者に、作品展の案内をする。

3 本時について（12/13）

(1) ねらい

パワーポイントや動画などのICT機能を活用した発表を互いに聞き合い、良さを伝え合うことを通して、自分の発表に自信をもつことができる。

(2) 評価規準

発表を聞き合う中で、仲間に分かりやすいように発表したり、仲間の発表の良さを考えて伝えたりしている。

(思考・判断・表現)

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）
導入	1 本時の学習内容に問題意識をもつ。 ○これまでの活動を振り返り、当日は観に来てくれた人に自信をもって発表することを確認し合う。そのためには、良さを伝え合うことで、みんなが自信をもつことができることを確認する。	準備するもの： 児童用タブレットPC 大型提示装置、教師用タブレットPC
	2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">仲間と発表の良い所を伝え合おう。</div>	
展開	3 課題解決の見通しを立てる。 ○自分の発表ではプレゼンテーションソフト、仲間の発表の良さを伝える時にはScratchとカメラのビデオ機能を使うことを確認し、操作の仕方も説明する。 ・発表者は、タブレットのプレゼンテーションソフトを使って発表する。 ・聞き手は、発表者の「花マルボード」に花マルを付け、「花マルカメラ」にメッセージを録画する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【ICT活用の工夫】 ・タブレットの操作を大型提示装置で示すことで、活動の見通しがもてるようにする。</div>
	4 個人で追究する。 ○3グループに分かれ、互いに発表を聞き合って評価する。 ・低学年と高学年をペアにし、低学年が操作等で困っている時には、高学年アドバイスする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【ICT活用の工夫】 児童のタブレット ・自分の作成する展示について、プレゼンテーションソフトに画像を入れ、それを見せながら発表する。 ・Scratchで作成した表を用意し、発表を聞いた児童の表をタップすることで花マルマークを付けて評価することができるようにしておく。→「花マルボード」 ・カメラ機能を用いて、どのような所が良かったのかについてメッセージの録画ができるようにする。 →「花マルカメラ」</div>
終末	5 全体で話し合い、課題を解決する。 ○自分のタブレットの「花マルボード」「花マルカメラ」を見て、自分の発表の良さについて確かめる。 6 学習をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">仲間と良さを伝え合うことで、自分の発表に自信をもつことができたね。観に来てくれた人にも、自信をもって発表をしよう。</div>	